

【記入例】 児童手当 認定請求書

<請求者>

父母等のうち、児童の生計を維持する程度の高いかたが請求者となります。（原則として所得の高いかた）
請求者が公務員の場合は所属庁へ、青森市外に住所を有する場合は住所地へ請求してください。

<職業>

加入年金で判断しますので、下記を参考にいずれか該当するものに○をつけてください。「配偶者等の職業」についても同様です。

ア.被用者

厚生年金、私立学校教職員共済、日本郵政共済、文部科学省共済組合（大学等支部に限る）、国家公務員共済又は地方公務員共済（独立行政法人等へ派遣されているか等公務員ではないか）

イ.公務員

国家公務員共済又は地方公務員共済
ウ.被用者等でない者
国民年金、未加入又は配偶者の被扶養者

<児童> ※施設入所児童は除く

単身赴任や児童の通学等の理由により、請求者が児童と別居している場合は、「児童手当別居監護申立書」の提出が必要です。

<児童の兄姉等> ※施設入所者は除く

大学生年代（18歳到達後最初の3月31日から22歳到達後の最初の3月31日まで）の子について記入してください。

下記の2つの条件をどちらも満たす場合は多子加算におけるカウント対象となりますので、あわせて「監護相当・生計費の負担についての確認書」を提出してください。

- ① 児童と児童の兄姉等の合計人数が3人以上
- ② 児童の兄姉等について、「監護相当」および「生計費負担」がいずれも「有」

※請求者本人名義の口座の情報（金融機関名、店番、口座番号、口座名義）が確認できる書類を添付してください。
※3歳未満の児童がいる場合は、請求者の資格確認書、資格情報のお知らせ又はマイナポータルからダウンロードした「資格情報画面」など公的医療保険の被保険者であることを証するものを添付してください。（国民健康保険、生活保護、任意継続又ははとなたかの被扶養者の場合は不要）

様式第2号（第3条関係）										児童手当 認定請求書		提出年月日 R○年○月○日		※受付確認年月日 年 月 日					
青森市長 様				氏名 ふりがな あおり はなこ 青森 花子 (本人名)				住所 〒 030-0801 青森市新町1丁目3番7号 電話 000 (0000) 0000		支払希望金融機関 銀行 本店 信用金庫 信用組合 支店		店番 0000		口座番号 0000000000000000					
請求者				ふりがな あおり たろう		生年月日 S○・○・○		配偶者等の氏名 青森 太郎		配偶者等の職業 ア.被用者 イ.公務員(勤務先:ウ.被用者等でない者)		請求者の加入している公的年金制度の種別 ア.厚生年金保険 イ.私立学校教職員共済 ウ.国家公務員共済		エ.地方公務員等共済 オ.国民年金 カ.その他()					
性別 男				生年月日 S○・○・○		配偶者等の有無 有		住所 青森市中央1丁目22番5号		個人番号 0000000000000000		請求者の1月1日時点の住所 (1月～5月分は前年、6月～12月分は本年) 青森市中央1丁目22番5号		配偶者等の1月1日時点の住所 (1月～5月分は前年、6月～12月分は本年) 青森市中央1丁目22番5号					
氏名				続柄		生年月日		同居・別居の別		海外留学をしている場合の出国年月		住所(別居の場合のみ記入)		監護の有無		生計関係		※支給金額	
青森 二郎				子		H○・○・○		同・別 別		年 月		●●県▲▲市 ■町123番地		有・無 有		同・維持 維持		円	
青森 三郎				子		R○・○・○		同・別 同		年 月		■町123番地		有・無 有		同・維持 維持		円	
.				.		.		同・別		年 月				有・無		同・維持		円	
.				.		.		同・別		年 月				有・無		同・維持		円	
氏名				続柄		生年月日		同居・別居の別		海外留学をしている場合の出国年月		監護相当の有無		生計費負担の有無		注) 18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者を記載してください。 【要注記】「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」で、児童の兄姉等と児童の合計人数が3人以上の場合は、本請求書と併せて同封の「監護相当・生計費の負担についての確認書」をご提出ください。		※算定対象の場合に○印	
青森 一郎				子		H○・○・○		同・別 別		年 月		有・無 有		有・無 有					
.				.		.		同・別		年 月		有・無		有・無					
所得				年分所得額(請求者) 円				(備考) 転入者: 転出予定年月日 年 月											

<支払希望金融機関>

請求者本人名義の普通預金の口座に限ります。
口座情報（金融機関名、店番、口座番号、口座名義）が確認できる書類（通帳やキャッシュカード等の写し）を添付してください。

用語の説明

- 児童 0歳から高校生年代（18歳に達する日以後最初の3月31日）までの子
- 監護 請求者が児童の生活について通常必要とされる監督、保護を行っていることと社会通念上考えられる主観的意思と客観的事実が認められること
- 生計同一 請求者が児童の①父または母、②未成年後見人、③父母指定者のいずれかの場合で、児童と生活の一体性があること
- 生計維持 請求者が上記①～③ではない場合で、児童の生計費の大半を支出していること
- 監護相当 請求者が児童の兄姉等について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をしていること
- 生計費負担 児童の兄姉等が請求者の収入により日常生活上の全部又は一部を営んでおり、かつこれを欠くと通常の生活水準を維持することができないこと